

Juniper SRX 日本語マニュアル

Junos OS のモードと CLI 操作

JUNIPER
NETWORKS

Driven by
Experience™

はじめに

- ◆ 本マニュアルは、Junos の CLI モードおよび機能について説明します
- ◆ 手順内容は SRX300 、 Junos 21.2R3-S2 にて確認を実施しております
- ◆ 実際の設定内容やパラメータは導入する環境や構成によって異なります
各種設定内容の詳細は下記リンクよりご確認ください

<https://www.juniper.net/documentation/>

- ◆ 他にも多数の SRX 日本語マニュアルを「ソリューション & テクニカル情報サイト」に掲載しております
<https://www.juniper.net/jp/ja/local/solution-technical-information/security.html>

2022 年 8 月

アジェンダ

- ◆ CLI のモード
- ◆ Configuration モードのコマンド
- ◆ CLI の階層
- ◆ CLI ライン上のキー操作・ショートカット
- ◆ コマンドや設定値の補完操作
- ◆ コマンド状況に応じたヘルプ機能

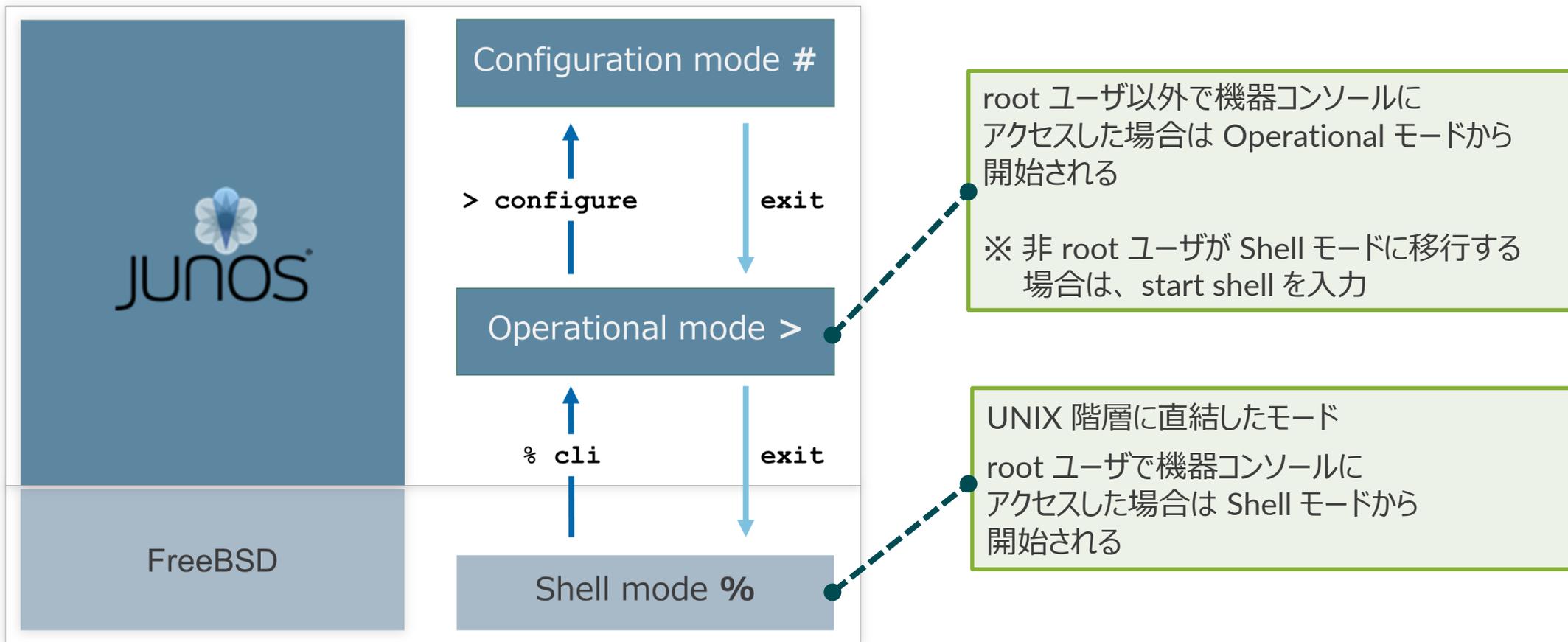
CLI のモード

Junos には2つの CLI モードがあります

モード	プロンプト	説明
Configuration モード	# user@srx#	機器の設定を行う CLI モード <ul style="list-style-type: none">・システム設定・インタフェース設定・ルーティング設定・パケットフィルタリング設定・ポリシー設定・SNMP などその他すべての設定
Operational モード	> user@srx>	機器の現在の状態が表示される CLI モード <ul style="list-style-type: none">・show コマンドでの状態表示・ping、traceroute、telnet、clear・debug (monitor) での動作状況のモニタリングやトラブルシュート・OS アップグレード・機器のリブート、シャットダウン・set コマンドでの日時や terminal 表示方法の設定

CLI のモード

Junos の CLI モード遷移



CLI のモード

1. Shell モード から Operational モードへのアクセスは cli コマンドを実行します

```
root@srx% cli
root@srx>
```

2. Operational モードから Configuration モードへのアクセスは configure コマンドを実行します

```
user@srx> configure
Entering configuration mode

[edit]
user@srx#
```

3. Configuration モードから Operational モードへ戻るには exit コマンドを実行します

```
[edit]
user@srx# exit
Exiting configuration mode

user@srx>
```

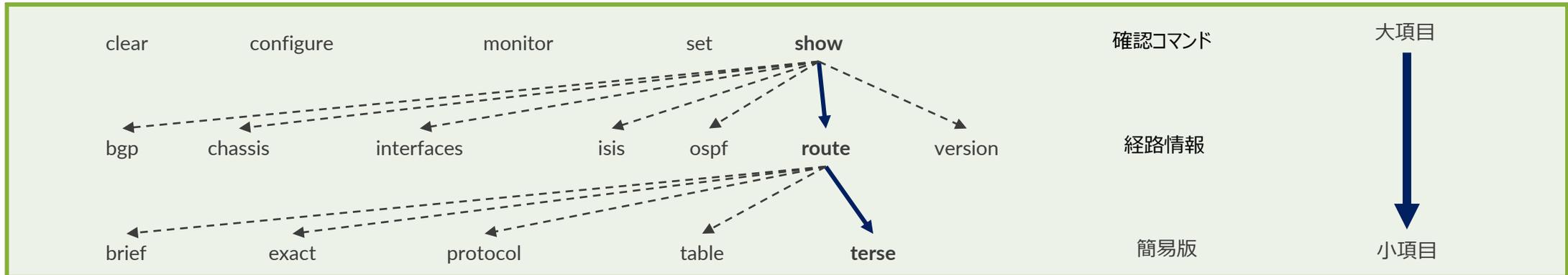
Configuration モードのコマンド

次の表に設定操作において使用頻度の高い Configuration モードのコマンドを記載します

コマンド	機能
set	設定を行うためのコマンド
delete	設定の削除を行うためのコマンド
show	現在の設定階層および、サブ階層の設定内容を表示させるコマンド 最上位の top 階層から show コマンドを実行した場合、全ての設定内容が表示されます
commit	現状の候補設定の内容を既存の(動作)設定として保存する場合に commit コマンドを使用します
copy	一つの設定の定義内容を別の名称の設定にコピーするためのコマンド copy コマンドは、定義済みの設定および以下の階層の全体の設定内容を複製します
rename	以前定義した設定に新しい名称を適用させるためのコマンド

CLI の階層

CLI のコマンドは階層ごとにまとめられています
類似した機能に関連するコマンドは同じ階層レベルに集約されています



```
user@srx> show route terse ※ルートテーブルの簡易表示をさせるコマンド

inet.0: 3 destinations, 3 routes (3 active, 0 holddown, 0 hidden)
+ = Active Route, - = Last Active, * = Both

A V Destination      P Prf  Metric 1   Metric 2   Next hop        AS path
* ? 0.0.0.0/0         S   5                >192.168.1.254
* ? 192.168.1.0/24    D   0                >ge-0/0/0.0
* ? 192.168.1.100/32 L   0                Local

inet6.0: 1 destinations, 1 routes (1 active, 0 holddown, 0 hidden)
+ = Active Route, - = Last Active, * = Both

A V Destination      P Prf  Metric 1   Metric 2   Next hop        AS path
* ? ff02::2/128      I   0                MultiRecv
```

CLI ライン上のキー操作・ショートカット

カーソルの移動		その他	
Ctrl+b	1文字戻る	Ctrl+p or ↑	コマンド履歴を逆方向にスクロール
Ctrl+f	1文字進む	Ctrl+n or ↓	コマンド履歴を順方向にスクロール
Ctrl+a	行頭に移動	TAB / SPACE	入力の補完
Ctrl+e	行末に移動	?	次に入力すべきコマンドやパラメータのヒントを表示

文字列の操作	
Ctrl+h / Delete / Backspace	カーソル前の1文字を削除
Ctrl+d	カーソル後の1文字を削除
Ctrl+k	カーソルから行末までを削除
Ctrl+u	行をすべて削除
Ctrl+w	現在入力途中の単語または、カーソルより左側の1単語を削除
Ctrl+y	Ctrl+k で最後に削除されたテキストを貼り付け

コマンドや設定値の補完操作

- Junos OS の CLI ではスペースキーまたは Tab キーを利用してコマンド入力を一部補完することができます
特定のコマンドの一部にのみ該当する文字列を入力したすることでコマンドが完成されます
複数候補がある文字列を入力した場合はその文字列に該当したコマンドのリストが表示されます

```
user@srx> show se
                ^
'se' is ambiguous.
Possible completions:
 security      Show security information
 services      Show services
```

Tab キーを利用して設定内で割り当てられた設定名(例えば、ユーザ名やインタフェース名)を補完することもできます

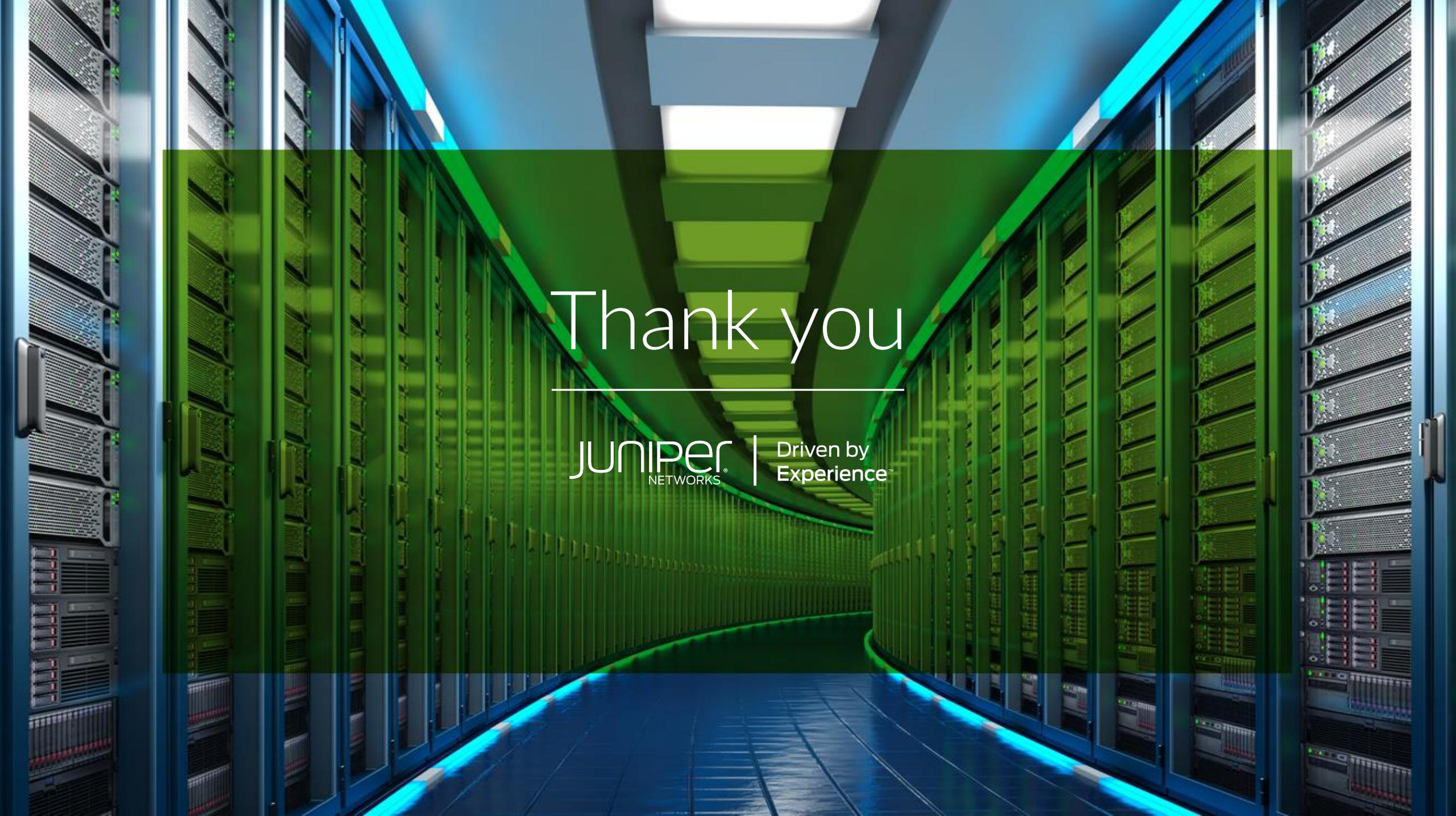
コマンド状況に応じたヘルプ機能

- Operational モードおよび Configuration モードのコマンドライン内の全ての位置および階層において ? キーによって状況に応じたヘルプ情報を表示させることができます
- 実行した場合、その階層において利用可能なコマンドのリストが表示されます

```
user@srx> ?  
Possible completions:  
clear          Clear PPM related statistics information  
configure      Manipulate software configuration information  
file           Perform file operations  
... (以下省略)
```

- コマンド入力後に実行した場合、そのコマンド以下で利用可能なコマンドのリストが表示されます

```
user@srx> clear ?  
Possible completions:  
amt            Clear AMT Protocol information  
arp            Clear address resolution information  
auto-bandwidth Clear auto-bandwidth information  
... (以下省略)
```



Thank you

JUNIPER
NETWORKS®

Driven by
Experience™